

博物館基本計画に関するパブリックコメント募集結果

1) 目的

パブリックコメント（意見公募手続）は、行政等が意思決定をする際の政策等の案を事前に公表し、その案について広く市民等からのご意見やご指摘、情報等を募集するものであります。

今回、博物館基本計画についてパブリックコメントを実施しましたので、その結果を回答とともにお知らせいたします。

2) 実施期間

平成24年5月1日（火）～平成24年12月31日（月）

3) 周知方法

- ・対馬市広報誌「つしま」5月号
- ・対馬市ホームページ

4) 応募方法

- ・対馬市教育委員会 文化財課 博物館準備室へ 持参、郵送、ファックス、Eメールによる提出。
- ・最寄りの地区公民館へ持参

5) 応募件数

1件 3項目

6) ご意見の内容及びそれに対する市の考え方

パブリックコメントを実施した結果、1名の方から3項目についてご意見をいただきました。

ご意見に対する市の考え方は、次ページのとおりです。

※いただいたご意見の一部簡略させていただいております、ご了承ください。

項 目	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え
<p>1. 「自然史」的な内容を「歴史・文化」的な内容と同等に扱って欲しい。</p>	<p>・対馬の歴史や文化の重要性については論を待ちませんが、同じように動植物や昆虫などの生物の多様性も対馬の特異性を示す重要なものです。</p> <p>「対馬でしか見られない大陸系の生物が数多く生息している」「対馬暖流の影響と思われる亜熱帯性の生物や残存種が見られる」等の特異性により、世界の研究者が関心を寄せ、毎年多くの研究者が来島していますが、事前の問合せ窓口さえ十分でない状況です。</p> <p>今まで自然史博物館のような施設が無かったことが不思議でありませんが、今回博物館がつくられるのは、まさに絶好の機会と捉えています。</p> <p>ただ、基本計画からは相変わらず自然史的な面への認識が低く、積極的に生かしていることとする発想を十分に読み取ることができませんでした。</p> <p>是非、歴史・文化と同じように、自然に関わる内容についても重要視していただきたい。</p>	<p>・ご指摘のように、歴史や文化とともに、多様性と特異性に富んだ自然は、対馬市の大きな魅力の一つであると認識しております。</p> <p>基本計画策定委員会におきましても、「対馬において自然史は大きな役割を持ちファクターとなる」、「子供たちの集客には興味を引き付ける自然が欠かせない」といった意見も頂いております。</p> <p>また、先ごろ実施した市民意見交換会におけるアンケートにおいては、歴史に関する展示希望を一番多くいただき、あわせて民俗、考古、自然等に関する展示の希望意見もいただきました。</p> <p>以上のようなことから、展示に関しては、今後の基本・実施設計等へ向けて十分に検討を重ね、また建設予定地の状況や、既存施設の利活用、最終的な展示コンセプトとの関係性等も考慮し、バランスの良い展示を検討してまいりたいと思います。</p>
<p>2. 展示だけで来館者を呼び込む時代は終わった。</p>	<p>・最近の博物館運営は「体験と連携した展示」といいましょうか、市民やその他外部に対して学習の場を提供するという大きな役割が期待されています、展示だけで来館者を呼び込む時代はとっくの昔に</p>	<p>・博物館の役割の一つとして市民に学習の場を提供することは言うまでも無いことであります。</p> <p>また、体験型の博物館が多くなってきていることも良く理解しております。</p>

	<p>終わっています。</p> <p>独自の企画に基づいたイベント等を開催し、来館者を能動的に呼び込むには、事業をトータルでコーディネートできる学芸員の能力が求められます。</p> <p>そう考えたとき、計画に示されている組織体制の学芸員構成一覧に示された人員数で果たして大丈夫なのかという懸念が生じます。</p> <p>自然分野に至っては、非常に広範な内容にもかかわらず学芸員はわずか1名です。</p> <p>学芸員をサポートする嘱託職員や、島内のその分野に詳しい人等、人材活用の面について掘り下げて基本方針に盛り込んで欲しかったと思います。</p> <p>箱物を生かすも殺すも携わる人（ソフト）ではないでしょうか？</p> <p>合わせて、博物館運営に係る財政面のことが触れられていないことが非常に残念です。</p> <p>運営費やその算定根拠、運営全体の中核となるのは等々。</p> <p>博物館が、対馬市に無くてはならないものとして市民に愛されるものとなるため、ある程度見切り発車でも徐々に育てていくことができるものと、建設前に十二分に知恵を絞っておかなければならないものとの吟味をしっかりと行</p>	<p>そのうえで、如何に博物館運営を行っていくかは、学芸員をはじめとしたスタッフのアイデアと努力に負うところが大きいと思っております。</p> <p>人員配置につきましては、基本計画の内容に加え、今回いただいたご意見、或いは、今後設置予定の「建設運営委員会」等での議論を考慮し、検討していきたいと考えております。</p> <p>ご指摘のように、島内の人材活用については「市民協働のまちづくり」の点からも非常に大事なことで、当然必要で有ると認識しております。</p> <p>なお、年間の運営費であります。基本計画検討段階においての試算では、およそ220,000千円と見込んでおります。算定根拠は類似の施設を参考に積算したものであります。</p> <p>ただ、これはあくまでも現時点における“試案”であり、施設規模、運営形態や、県との負担割合等不確定な要素も多く、今後検討、協議次第では大きく変わることも考えられます。</p> <p>いずれにしましても、限られた財源の中で、市民に愛され、支持される博物館として運営を継続していけるよう、多くの方のご意見を参考にさせていただき、また、長崎県との協力体制を築いてい</p>
--	---	---

	<p>っていただきたい。</p>	<p>きながら、計画を進めていきたいと思います。</p>
<p>3. 対馬博物館(仮称)の名称について</p>	<p>「対馬歴史海道…」から「対馬博物館(仮称)」に変更されたことを大いに支持します。</p> <p>対馬の魅力を余すことなく伝えようとする意図を感じたからです。</p> <p>ただ、仮称に「市立」または「市」を入れなかった特段の理由が何かあるのでしょうか？</p> <p>そうでなければ、「対馬市立博物館」「対馬市博物館」を検討願えれば幸いです。</p>	<p>・対馬市においては、対馬市総合計画(後期計画)や国・県への要望、予算科目等において博物館の仮称を「対馬歴史海道博物館」としてきました。</p> <p>今回の基本計画策定にあたり、策定員会において、「簡略で分かりやすい」名称ということで、「対馬博物館」と仮称が付けられました。</p> <p>名称に「市立」あるいは「市」を入れなかった点についてですが、県との合築という方向性も含めて、運営のありかたを議論していくため、暫定的に付していなかった次第です。</p> <p>いずれにしても「仮称」であり、今後正式名称を公募等の方法も含めて検討し、決定する予定としております。</p>